

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	実践を通じてステラの風に来られる馴染みの方々は、認知症を知ることにはできているが、関りが無い方々に認知症の理解を深めることが出来ていない。	地域の子供から大人の方々まで、たくさん関りを持ち、認知症について理解や支援方法を発信できる。	地域の資源を活用し、交流の場に参加をすることによって、多くの人々と関わりを持ち、認知症の理解を深める。エコバック講師をはじめ、今後の学校行事やサロンの参加に積極的に取り組む。	12ヶ月
2	33	看取りの実践はないが、看取りに関して不安に思う職員が多く、看取りに対して不安が今後の課題とする。	看取りに対して、職員一人ひとりが不安な気持ちを持たず、支援に繋げれる。	外部講師や施設内研修で、職員の不安が取りのぞけるような研修内容を取り入れる。また、日頃から、看取りに関して、職員間で情報を共有し、不安が軽減するように努める。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。